

令和4年度教育研究業績書

氏名 正司 哲朗

最終学歴	龍谷大学大学院理工学研究科電子情報学専攻博士課程後期	
取得学位	博士（工学）	
所属学会	電子情報通信学会、情報処理学会、地理情報システム学会、教育システム情報学会、日本教育工学会、バーチャルリアリティ学会、日本モンゴル学会、日本文化財科学会など	
専門分野	情報メディア、画像処理、デジタルアーカイブ、情報考古学	
研究課題	文化遺産を対象としたデジタルアーカイブ、深層学習を用いたデータ分析	
授業科目	学部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・ デジタルアーカイブ概論(後期) ・ 文化情報論(後期) ・ 情報学(後期) ・ プログラミング言語I/WebプログラミングI(後期) ・ プログラミング言語II/WebプログラミングII(後期) ・ 演習IV(前期)
	大学院修士課程担当科目 (博士前期課程含)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報処理論特殊講義(二)(四)(後期)
	大学院博士後期課程担当科目	担当なし
	通信教育部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報処理
【研究上の特記事項】	<p>(1) 科学研究費補助金 基盤研究(A) 研究分担者 「ウイグル可汗国の北東境界統治と周辺諸族との関係に関する考古学的研究」</p> <p>(2) 科学研究費補助金 挑戦的研究(萌芽) 研究分担者 「深層学習を用いた画像診断による玉類の産地同定の簡易化研究」</p> <p>(3) 科学研究費補助金 基盤研究(C) 研究分担者 「5～13世紀ユーラシア東方における都城と仏塔の比較史的研究と3Dアーカイブ作成」</p> <p>(4) 科学研究費補助金 挑戦的研究(萌芽) 研究分担者 「深層学習による画像診断を利用した動物遺存体の種・部位同定に関する研究」</p>	
【教育上の特記事項】	(1) 遠隔授業のためのLMSシステムの開発と運用	
【社会的活動】	<p>(1) 奈良県の委託委員会</p> <p>(2) モンゴルカラコルム博物館のデジタル展示</p> <p>(3) 蔵王町教育委員会</p>	
【学内活動】 (学内職歴を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ネットワーク委員会、社会学部実習室管理委員、ICT教育推進PT ・ 全学ネットワークの支援 ・ 遠隔授業サポートワーキンググループ□ 	

研究業績[著書、学術論文等]				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
①遊牧帝国の文明 考古学と歴史学のアプローチ	共著	2023年3月	三元社	ボルジギン・フスレ編著、第5章「匈奴の墓群・土城の測量調査」(pp.131-153)を執筆
(学術論文)				
①モンゴル国における匈奴とウイグルの城址	共著	2022年9月	札幌大学紀要(教養部) 58 巻1号	匈奴、ウイグルの土城・宮殿を測量した成果を公表した。(木山克彦、中村大介、臼杵勲、正司哲朗、アンパイルバツォーリ、ガルダン ガンバートル、ロチン イシツェレン)(pp.125-148)
②Shaltz Uul-1 site on the north-east of Mongolia	共著	2022年9月	СРЕДНЕВЕКОВЫЕ ДРЕВНОСТИ ПРИМОРЬЯ Выпуск 5	ウイグルの地方官衙と推定されるシャルトツ・オール1の発掘調査をまとめた。(Kiyama K., Ishtseren L., Sagawa M., Shoji T., Usuki I., Sasada T.) (pp.475-485)
③照度差ステレオを用いた黒曜石の尖頭器の面方向推定に関する研究	共著	2022年10月	札幌学院大学人文学会紀要 第112号	照度差ステレオ法を用いて、黒曜石の尖頭器の面傾きを推定し、面の向きを考慮に入れたエッジ検出を行い、石器の図面化を試みた。(正司哲朗、大塚宜明、臼杵勲) (pp.75-88)
④画像特徴に基づく土器展開図の製作に関する検討	共著	2023年2月	奈良大学紀要 Vol.51	画像特徴をベースに2次元画像のみで土器展開図の製作方法を検討し、評価を行った。(正司哲朗、臼杵勲)(pp.127-137)
⑤Digital Archives for Temples Built by Jebtsundamba Khutukto I	単著	2023年3月	Mongolian and Northeast Asian Studies Vol.8	ジェブツンダンバ・ホトクトI世が建立した寺院都市ゾーン・フレーとサルダギ寺院のデジタルアーカイブを行った成果について述べた。(pp.67-77)

(学会発表・シンポジウム)				
①Digital archives and Comparison of temples built by Jebtsundamba Khutuktu I	単著	2022年9月	第15回ウランバートル国際シンポジウム 日本とモンゴル-ユーラシアからの眼差し	ジェブツンダンバ・ホトクトI世が建立した寺院都市ゾーン・フレーとサルダギ寺院のデジタルアーカイブを行い、これらの構造比較を行った。
②AR(Augmented Reality)技術を用いた勅賜興元閣碑のデジタル展示	共著	2022年12月	Чингис хааны мэндэлсний 860 жилийн ойд зориулсан "Нүүдэлчдийн бичээст чулуун дурсгалын судалгаа, өнөө ба ирээдүй" сэдэвт эрдэм шинжилгээний хурлын хөтөлбөр	チンギス・ハーン生誕860周年記念科学会議プログラム「遊牧民のモニュメント研究、現在と未来」のテーマでからコルム博物館でシンポジウムが開かれ、勅賜興元閣碑のデジタル映像展示の意義について述べた。
③匈奴の土城測量	単著	2022年12月	国際シンポジウム「遊牧帝国の文明と現代社会」	匈奴の宮殿ハルガニン・ドルヴルジン、土城のボロ・アズラギーン・ヘレム、タリル・ゴルヴァン・ヘレムを測量し、構造比較を行った。
④モンゴル国ホステイン・ボラク3遺跡匈奴時代窯跡における瓦博生産とその比較研究	共著	2023年2月	第22回北アジア調査研究報告会	匈奴時代の瓦窯を発掘調査し、廃棄された窯の上にさらに窯を築くという特殊な構造をしていたことがわかった。(佐川正敏、臼杵勲、L.インツェレン、木山克彦、柳本照男、正司哲朗)(pp.29-32)
⑤2022年モンゴル東部シャルツ・オール1遺跡の発掘調査	共著	2023年2月	第22回北アジア調査研究報告会	ウイグルの地方官衙シャルツ・オール1の東門の発掘調査し、その調査成果について述べた。(木山克彦、L.インツェレン、佐川正敏、臼杵勲、正司哲朗)(pp.33-36)
⑥画像測量に基づくウイグル土城と地方官衙の構造比較	共著	2023年2月	第22回北アジア調査研究報告会	ウイグルの土城とシャルツ・オール1、3などを唐尺を用いて評価し、設計プランなどを考察・比較した。(正司哲朗、木山克彦、佐川正敏)(pp.41-44)
(その他)				
①ユーラシア東方世界の都城と仏塔	共著	2022年12月	大谷大学真宗総合研究所	武田和哉編、第3章 平城京の外京を中心とした3次元CG製作とVR表示(pp.33-42)を執筆